

『よさ、とりえ、輝く個性を伸ばし、笑顔あふれる学校』



学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒
誠実で思いやりのある生徒
心身ともにたくましい生徒

平成31年2月1日発行 第10号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>

オーケストラ鑑賞

校長 漆原 亮

先月、管弦楽の演奏を聴きにサントリーホールへ行ってきました。ここ数年、コンサートホールに足を運び音楽鑑賞するようになりました。にわか愛好家ですので、プログラムノートの曲目の解説もただ字面を追うだけで、曲想やモチーフなどへの言及があっても消化不良のままで終わってしまいますが、それでもその場にいるととても楽しく、心地よくなります。

会場ではまず、演奏者が席に着き、コンサートマスターが立ち上がり、指示を出します。楽器のチューニングが行われ、「さあ、これからコンサートが始まるぞ」とワクワクした気持ちわき起こってきます。そして、着席するとチューニングの音が鳴り止み、指揮者が登場、一礼とともに、演奏が始まります。ステージ上に編成された多くの奏者が一体となって曲を奏で、ホールいっぱい音楽に包まれていきます。



著名な指揮者であり、芸術監督をも務める佐渡裕氏は、次のように語っています。

「CDで聞くのとはやっぱり違います。この劇場に来て客席に座って、オーケストラの演奏によって目の前の大きな空気が振動しているということを体験してもらうのは非常に重要なこと

だと思います。」

実際に、当日の定期演奏会では95名の演奏者が一人の指揮者のもと、最大限の集中力を発揮して演奏に取り組んでいました。演奏途中、弦が切れてしまったという場面もありました。やはり本物に触れることに越したことはない、CDでは味わえないもの、そのひとつが一体感だと思いました。従って、聴衆も演奏会をともに運営していくわけですから、必然的にマナーを守ること、携帯電話の電源を切るとはもちろん、咳くしゃみ、プログラムをめくる音等十分気をつけなければなりません。

演奏は、指揮者自身の音楽的解釈を体全体でオーケストラに伝え、音にしていくことです。そして、聴衆を感動に導くような演奏にするためには、目一杯の集中力が求められます。その集中力について世界的な指揮者である小澤征爾氏は「集中力っていうのは、天才のものじゃないんだ。訓練だ。」と言っています。クラシック音楽に精通し演奏家でもあった龍角散前社長藤井康男氏によれば、「90分間にわたる演奏は重労働だから、空腹では力をだしきれない。かといって、満腹の状態になってしまうと、集中力も弛緩してしまう。」「だから演奏時に集中力を最大のものにするため、たかが、食事といえども、きちんと計算された手順を踏む必要があるのである。」「いざというとき集中力を発揮するには、事前にきちんと準備をしておかなければならない。」と指摘しています。



斯界の泰斗の両氏が『集中力』は「訓練」「準備」が必要であり身につけられるものだと語っているのはとても心強く感じます。学校の諸活動においてはもちろんのこと、社会生活・職業生活でも『集中力』はたいへん大切な要素です。『集中力』は鍛え、計画的に運用できるとの示唆から私たちは具体的な方策を練り、個々が継続的に取り組むことによって自由自在に『集中力』を発揮できるようになることでしょう。

興味深いことに藤井氏は、「音楽は、右脳を刺激し、その働きを活発にする。右脳を刺激することで、集中力を高める効果もある。」とも述べています。

オーケストラの芸術的挑戦の場である演奏会で、大編成の楽曲や難曲に取り組む演奏者にとって『集中力』は欠くべからざるものであり、聴衆はその無心の境地を求める姿勢に見入り、感動が迫ってくるのだと思います。

そして私たちも、この『集中力』の獲得を通して、いわゆる「フロー体験」、「ゾーンに入る」といった経験を重ねながら、成長へと結びつけていくことが重要だと思います。

風は見えなくても風車は回っている。音楽は見えなくても心に響いてくる、囁きかける。

J. S. バッハ

1月の行事をふり返って

先月、1年生はスキー学校、2年生は職場体験学習を実施しました。



1年生はホテルやインストラクターの方から「行動が早い」とおほめの言葉をいただきました。これは、普段の生活の中でキビキビした行動で集団の力が高いこと、一人一人が次の行動を把握し、周りからの声かけもしっかりできていること、がこの評価につながったと考えられます。ご協力いただいた学校評価の中でも、集団の向上に関わる学校行事について、十分達成 81.6 概ね達成 17.0 あわせて 98.6 ポイント(生徒)、同じく 56.7、41.1、あわせて 97.8 ポイント(保護者)と数値の上でも反映されているようです。

2年生では、お世話になった事業所の方から生徒の様子をふり返ってご回答いただきました。好感を持って受け止めていただいた点が、①あいさつ ②作業に取り組む熱心さ、一生懸命さ、積極さ ③笑顔、明るさ、コミュニケーション ④指示や声かけに対する態度(相手の目を見てしっかり話を聞く)等になります。関連する学校評価では、あいさつ 十分達成 58.8 概ね達成 32.0 あわせて 90.8(生徒)、同じく 38.1、52.5、あわせて 90.6(保護者)、話を聞き、意欲的に学ぶことに関しては 55.5、40.2、あわせて 95.7(生徒)、28.7、64.1、あわせて 92.8(保護者)、相手や場に応じた言葉づかいをしているに関しては 64.8、33.4、あわせて 98.2(生徒)、39.1、52.5、あわせて 91.6(保護者)、お互いに楽しく学校生活を送っているについては 71.1、24.7、あわせて 95.8(生徒)、55.4、40.1、あわせて 95.5(保護者)、となっており、学校での生活の様子と職場体験のように社会へ出たの実際とでは大きく関連してきます。目下事業所ではコンプライアンス(法令遵守)が重視されているところだと思いますが、学校生活における該当項目、学校のきまりを守って生活しているか、については 81.2、17.0、あわせて 98.2(生徒)、63.5、34.6、あわせて 98.1(保護者)、という結果でした。学校で学ぶことはいずれ社会でも通じることとして、確実に身につけられるようご家庭でも引き続きご協力をお願いします。



2月行事予定

1	金	A短、中学校体験授業・保護者説明会
6	水	A短
7	木	A短、まきば園訪問
8	金	体育館引き渡し
12	火	3年租税教室、2年進修館高校見学会
13	水	A短、専門委員会、中学校調べ(東小、北小)
14	木	3年3学期期末テスト1日目
15	金	3年3学期期末テスト2日目 3年公立出願事前指導
18	月	願書提出、3年生午前中授業

19	火	願書提出
20	水	B短、生徒朝会(長野鐘賞)、安全の日
21	木	志願先変更
22	金	志願先変更、部活動中止
23	土	部活動中止
24	日	部活動中止
25	月	3年PTA、部活動中止
27	水	1, 2年3学期期末テスト1日目 3年公立受検事前指導
28	木	1, 2年3学期期末テスト2日目 公立高校学力検査